

EPA 介護福祉士：仕事と子育てを両立しながらリーダーを目指す



(社福) はびねす福祉会
特別養護老人ホーム若水館
ルナタ ヒロノブ ギンティンさん 介護職員 (2013 年入職)
出身国：インドネシア
日本語能力：N3

これまでの経歴

2013 年 7 月～ 来日、訪日後日本語研修 (6 か月間)
日本語能力試験 N3 を取得
2014 年 1 月 特別養護老人ホーム若水館入職
2017 年 3 月 介護福祉士国家資格取得

なぜ、日本で介護の仕事をする？

小学生の頃、日本人がつくった遊園地に行くのが楽しみで「こんな遊園地が作れる日本に一度行ってみたい」と思っていました。

その後は、大学で勉強して看護師の資格を取得しました。その大学の先生からの紹介で、EPA 介護福祉士候補者として日本で介護の仕事ができると知り、チャンスだと思いました。

この法人・事業所を選んだ理由は？

「はびねす」(happiness) という名前が素敵だなと思いました。また、みかんが好きなので、愛媛県に興味を持ったこともあります。実際に働いてみると、周りの職員は親切な方ばかりで、大変な時も乗り越えることができました。はびねす福祉会で働くことができてよかったと思っています。

これまでの仕事内容は？

- 準ユニットのフロアで勤務。
- 入職半年後から、夜勤、記録業務に対応。
- 介護福祉士国家資格取得後、家族も来日。職場の目の前にある保育所 (※) に子どもを預けながら、仕事と子育てを両立している。(※) 事業所内保育所から認可保育所に転換
- 2020 年 4 月から現場で役職に昇任昇格し、シフト管理等を担う予定。

最初はシーツ交換、ベッドメイキングの業務から始まり、フロアのリーダーと一緒にむつ交換等をしていました。徐々に業務に慣れ、入職半年後からは夜勤・記録業務にも対応するようになりました。看護の知識があるため、比較的早く介護の業務を理解することができたと思います。

ナタさんのある 1 日

6:00	起床、子どもの世話
8:30	子どもと一緒に出勤、保育所に預ける
9:00	勤務開始、トイレ誘導
10:00	水分補給
11:00	排せつ介助
12:00	食事介助
13:00	休憩 (昼休み)
14:00	おやつ
14:30	おむつ交換
17:00	食事介助
17:30	勤務終了、子どもを迎えにいて帰宅
21:30	就寝

将来の夢は？

将来は、母国で介護施設をつくりたいです。私の出身地には、まだ介護施設があまりなく、施設に対するイメージもよくないので、これから変えていきたいです！
そのために、まずは今の職場でリーダーになって経験を積み、施設の運営や経営のことも勉強したいです。日本語のレベルも上げたいです！

1 年目 (2014 年)

ナタさんの Career HISTORY

<当時の業務・学習内容>

- ・準ユニットのフロアで勤務（夜勤は半年後～）
- ・日本語の基礎を身に着けるための勉強

<当時の不安や悩みなど>

- ・最初は、早口や方言を聞き取るのが難しかったです。周りの人に教えてもらいながら、慣れていきました。

介護事業所（法人）が行った支援

- ・介護福祉士国家試験合格に向け、1 年目はまず日本語の基礎を習得する期間と位置づけて支援を実施
- ・仕事の中で介護の日本語の意味を理解できるよう、職場全体でサポート

2～3 年目 (2015～2016 年)

<当時の業務・学習内容>

- ・準ユニットのフロアで勤務（夜勤あり）。業務の中で介護の技能や言葉を学ぶ。
- ・2 年目～：国家試験対策（施設で週 3 回、1 回あたり 1 時間半）
- ・3 年目：国家試験対策（平日 10 問、休日 50 問。3 か月前からは本番と同じ問題数を解く）

<当時の不安や悩みなど>

- ・試験問題は漢字が多く、勉強が大変でした。皆さんに「ナタさんならできますよ。頑張ってください。」と言われてやる気ができました。

介護事業所（法人）が行った支援

- ・施設長をはじめ、日本人職員が教師役を務め、勉強会を開催。過去問で間違ったところの解説など。
- ・有用なテキストの紹介などのアドバイスも行う。教材費の補助あり。
- ・本人の様子を見ながら適宜声をかけるなど、メンタル面のサポートも実施。ストレスがたまらないよう、リフレッシュの時間もつくるよう助言。

4～5 年目 (2017～2018 年)

<当時の業務・学習内容>

- ・産休、育休を経て、別のユニットに配属。

<当時の不安や悩みなど>

- ・育休からの復帰後、しばらくの間はリズムがつかめないこともありましたが、職場の目の前に保育所があり助かっています。
- ・夫の母国での経験を活かした仕事が見つかり、安心して暮らしています。

介護事業所（法人）が行った支援

- ・施設の前に保育所を設立（事業所内保育所から認可保育所に転換。職員の子どもが多数通っている）。
- ・家族の母国での仕事を踏まえ、知り合いの会社（自動車関連）を紹介。
- ・家賃補助（日本人職員も含めた支援）
- ・法人全体で i-Pad を導入。ユニットに数台配置し、記録の負担を軽減、及び情報共有を図る。

現在 6 年目

先輩職員からのコメント

EPA 開始当初から受入れをはじめ、これまで多くの外国人介護職員と一緒に働いてきました。仕事上の支援に加え、生活支援や学習支援に力を入れています。

ナタさんはとても勉強熱心で、過去問を 1 日 3 問解くように勧めたら、毎日 10 問も解くようになって感心したのを覚えています。

これからも職場で活躍してもらって、今後の施設の運営・管理を任せていきたいです。

法人の概要

- ◆法人の名称／所在地
社会福祉法人はびねす福祉会／愛媛県新居浜市
- ◆法人が実施している事業
高齢者介護、障がい児者、保育、医療・教育事業（日本語学校運営、技能実習生研修センター運営）
- ◆外国人介護職員の受入れ状況（2020 年 3 月末現在）
EPA37 人、技能実習 22 人、留学生 25 人
- ◆ナタさん所属事業所（若水館）の職員体制
職員数 54 人（うち常勤介護職員数 29 人、非常勤介護職員数 11 人）